



# かながわの交通



今年の交通安全年間スローガン  
一般部門B：歩行者・自転車利用者へ呼びかけるもの  
(内閣府特命担当大臣賞)

## スマホ見ず しっかり前見て 踏むペダル



チューリップフェア (秦野戸川公園)

### 自転車はどこを走ったらいいの…? 教えて!

自治会・企業・高齢者の集まりなどで

## チリン・スクール を一緒にやりませんか。



◎県内の交通事故発生概況(平成28年4月末現在) ◎県人口・運転免許人口

年別	区分	発生件数	死者数	傷者数
平成28年		8,887	36	10,508
平成27年		9,545	54	11,318
増減数		-658	-18	-810
増減率		-6.9	-33.3	-7.2

	総数	男	女
県人口	9,129,317	4,556,615	4,572,702
免許人口	5,616,482	3,235,180	2,381,302
割合	1.6人に1人	1.4人に1人	1.9人に1人

(県人口は平成28年4月1日、免許人口は平成28年3月末現在)

# 二輪車交通事故防止及び暴走族追放運動

## 期 間

6月1日(水)～6月30日(木)

## 趣 旨

神奈川県交通安全対策協議会の主唱により、多発する二輪車の交通事故防止と二輪運転者の交通安全意識の向上を図るとともに、暴走族についても、その追放気運の醸成を図るため、県民総ぐるみの運動を展開します。

## スローガン

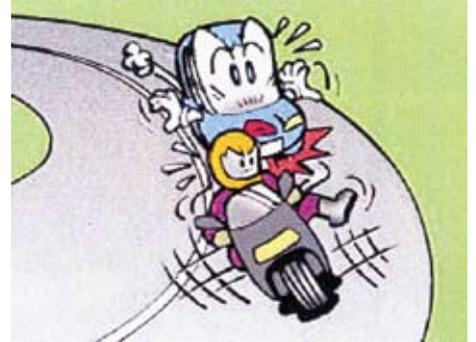
- 運転に ゆとり やさしさ 思いやり
- 暴走は しない させない ゆるさない!

## 重 点

- 1 二輪車交通事故防止
- 2 暴走族の追放

## 交通安全協会の主な推進事項

- 暴走族・二輪車の無謀運転追放キャンペーンなどを実施し、広報啓発活動を推進します。
- 二輪車安全運転講習会、暴走族加入防止教室などの交通安全教育の場への積極的参加を呼びかけ、支援活動を行います。



## 自転車マナーアップ強化月間実施中

各地区協会では、自転車マナーアップ強化月間である5月中、チリリンデー(5/5)などの機会に駅頭や主要交差点などでキャンペーンを展開し、自転車利用者の交通ルール遵守、マナーアップを呼びかけています。



## ～ 自転車大会参加による取り組み ～

### 《座間交通安全協会》

座間市では、ひばりヶ丘、小松原などの比較的平坦な地区や行幸道路などで通勤通学時間帯に自転車事故が多発し、交通事故全体の中で高い割合を占めています。

平成16年に「自転車交通事故多発地域の指定」制度が設けられてから一昨年を除いて、毎年地域指定され、また以前から自転車利用者の交通ルール無視やマナーの低下が叫ばれ、昨年「自転車運転者講習制度」がスタートしたこともあって、市や警察、学校と連携し、今年から「交通安全こども自転車神奈川県大会(6/4開催)」へ参加することを決定し、訓練や大会参加を通じて、選手、関係者が率先して自転車事故防止に向けた交通安全意識の高揚を図ることとしました。

## ～平成28年度「自転車交通事故多発地域」～

神奈川県交通安全対策協議会(会長:黒岩県知事)は、平成27年中の自転車交通事故件数の割合(構成率)が県内平均(21.8%)より3ポイント以上高いか、自転車交通事故死者数が2人以上のいずれかに該当する計21市区町村を「自転車交通事故多発地域」に指定し、自転車事故防止対策を推進することとしました。



	指 定 地 域
市	平塚市、座間市、茅ヶ崎市、大和市、小田原市、藤沢市、厚木市
区	横浜市金沢区・鶴見区・港北区・緑区、川崎市川崎区・幸区、中原区・高津区・多摩区 相模原市中央区・南区・緑区
町村	愛川町、清川村

※ —は昨年も指定

## 過去最少

### 県内の交通事故死者数

- 4月中の死者数……………7人
- 1～4月の合計死者数……36人

## 「春の全国交通安全運動」実施結果

### ◇ 県内の交通事故発生概況(4/6～4/15)

期間中の交通事故発生件数、死者数、負傷者数は前年運動期間(5/11～5/20)と比べて減少しました。しかし、子どもの交通事故は死亡事故の発生はありませんでしたが、増加しました。



(伊勢佐木交通安全協会)

区分	発生件数(件)	死者数(人)	傷者数(人)
本年	764 (82)	1 (0)	887 (85)
前年運動期間比	-27 (+9)	-5 (±0)	-36 (+14)
増減率(%)	-3.4 (+12.3)	-83.3 (±0)	-3.9 (+19.7)

- ◎ **交通死亡事故**～ 4月11日午後3時頃、箱根ターンパイクで普通乗用車を運転する男性(53歳)がガードレールに衝突、死亡
- ◎ 「**交通事故死ゼロを目指す日(4/10)**」の**交通死亡事故**  
・神奈川県 0件0人 ・全国 5件7人

※( )内は、子どもの交通事故

### ● 全国の交通事故死者数、ワースト順位

順位	1		2				6		8					全 国
	北海道	長野	埼玉	福岡	千葉	兵庫	茨城	岐阜	東京	香川	石川	三重	大阪	
死者数	7	6	6	6	6	5	5	4	4	4	4	4	4	110
前年同期比	+1	+4	+3	+2	±0	+1	-1	+3	+2	+2	+1	+1	±0	+1

※神奈川県は、死者数1人で全国ワースト第29位

## 春の全国交通安全運動出発式

県警察本部では、春の全国交通安全運動初日の4月6日、横浜赤レンガ倉庫イベント広場に白バイやパトカー56台を集結させて出発式を行い、部隊の士気高揚を図るとともに、本運動を周知しました。

運動期間中は各地区交通安全協会でも、新入学児童(園児)を交通事故から守る活動、4月10日の「シートベルトの日」及び「交通事故死ゼロを目指す日」の活動など、各種広報啓発活動を展開しました。

(巻末「地区交通安全協会の活動紹介」参照)



## 第10次神奈川県交通安全計画の概要

(平成28年度～平成32年度)

### 1 「人優先」の交通安全思想

高齢者、障害者、子ども等の交通弱者を思いやり、「人優先」の交通安全思想を基本とする。

### 2 今後の道路交通安全対策を考える視点

- ①交通事故による被害者を減らすために重点的に対応すべき対象
  - ②交通事故が起きにくい環境をつくるために留意すべき事項
  - ③県民との連携・協働
- の3つの視点で対策に取り組む。

### 3 道路交通安全対策

- ①道路交通環境の整備、②交通安全思想の普及徹底、③安全運転の確保、④車両の安全性の確保、⑤道路交通秩序の維持、⑥救助・救急活動の充実、⑦被害者支援の充実と推進、⑧研究開発及び調査研究の充実

といった8つの柱により、交通安全対策を実施する。

※ 交通安全計画による目標

年間の24時間交通事故死者数を150人以下とする。



## 交通安全こども自転車神奈川県大会への取り組み

三浦交通安全協会 事務長 青木緑子

三浦市で、毎年恒例により実施しています「三浦市自転車マナーアップ大会」をご紹介します。  
三浦市、県警察本部、三崎警察署をはじめとする関係機関・団体等多くの方々のご協力とご尽力により、今年で9回目を迎えることができました!!

地域ぐるみの交通安全意識の高揚と自転車の事故防止、7月に開催される「交通安全こども自転車神奈川県大会」出場の予選を兼ねて、三浦市内の小学5年生・6年生を対象に選手の募集を行い、5月に潮風アリーナで市長や警察署長などをお招きして「三浦市自転車マナーアップ大会」として開催しています。

関係機関・団体との連絡調整、賞品の準備等大会の開催に当たっては色々大変なことも多いですが、自然豊かな三浦の地でスクスク育つ子ども達の安全を守るためにも、子ども達に正しい知識を学んでもらい、正しい交通ルールとマナーを習得して安全な自転車の利用者となるよう、それが自転車の交通事故防止につながる事を願って、三浦市交通安全協会の主要行事として続けています。

自転車は免許のいらない「クルマ」ではありますが、歩行者への思いやり、交通ルールを守るなど、自転車を利用した時の心がけは免許を必要とする「車」と同じです。

参加した子供たちが少しでもそのことに気付き、習得した正しいルールとマナーを活かし、将来彼らが免許を必要とする「車」を運転した時に、大会で習得したことが頭の片隅にでも蘇ってくれることを期待して、今後もさらに「三浦市自転車マナーアップ大会」を発展させていきたいと思えます。



## 平成27年度交通安全ファミリー作文コンクール入賞作品の紹介

《小学生の部 佳作(内閣府政策統括官賞)》

### おたがいの安全のために

南足柄市立北足柄小学校

おのの なないろ  
5年 大野 水々紅

(敬称略:学年は受賞当時)



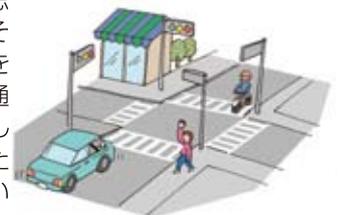
わたしは、5年生になって塾に通うようになりました。塾へ行くには、近くの中継車場でお母さんの車をおりた後、交通量の多い県道の横断歩道をわたらなければなりません。今までは、学校の登下校で家の近くの横断歩道しか、一人でわたったことはありませんでした。横断歩道には、学校の先生達が旗を持って立っていてくれるので、わたしはいつも自分で信号を見て左右を確認してわたるといよりも、先生の旗の合図で安心してわたっていたのです。

交通量の多い県道の横断歩道をわたるために、お母さんと三つの約束をしました。一つ目は、信号をよく見て左右を確認してすばやくわたる事。二つ目は、青い点滅信号のときは絶対わたらない、もしも途中で点滅になってしまったら手を上げて急いでわたる事。三つ目は、何かのひょうしに道路に飛び出さないように、信号を待つときは車道から1メートルはなれた所に立つ事。それから、後ろを向きながら歩いたり、歩道の車道側ギリギリの所を歩いたりしないという当たり前のような事も、もう一度お母さんと確認しました。塾に通い始めてたった4か月の間にいろいろな車を見ました。横断歩道をわたろうとしているのに右折してきて、歩行者よりも先に走り去る車。「早くしろ」と言わんばかりに、わたっている歩行者のすぐ横まで近付く車。黄色信号をアクセル全開で走り去る車。さらには、赤信号なのにもうスピードで走り去る車。この横断歩道を一人でわたるのがこわかったわたしは、いつも他の歩行者にくっついてわたっていました。

でもある日の帰り道、横断歩道にはだれもいませんでした。わたしは、どうしようと思いました。信号が変わるのを待ちながら、お母さんとのやくそくを何度も心の中でくり返しました。そして、青

信号になりわたろうとしたしゅん間、わたしの目の前を右折する車が走り去っていったのです。わたしは、びっくりしたのとこわかったのとで、思わず後ずさりしてしまいました。その後も、右折する車がどんどん横断歩道に入ってきて、ついに信号は赤に変わってしまいました。これでは家に帰れないと思うとなみだが出てきそうでした。そして、わたれない青信号を3回待った4回目の青信号でやっと、右折車がと切れてわたることができました。中継車場で待つお母さんの車に乗って、「おそかったね、どうしたの?」と心配そうなお母さんの顔を見たとき、ほっとしてがまんしていたなみだがどんどん出てきました。私の話を聞いたお母さんは、「約束を守っていたのは、すごくえらかったね。でもね、もしもななが手を上げていたのなら車は止まってくれたと思うよ。」と言いました。わたしも、そう思います。でも横断歩道を手を上げてわたった事は、学校の交通安全教室以外ではありませんでした。少し、はずかしいと思っていたからです。でも、自分がわたりたいという事を運転手に伝えるためにも、手を上げることは大事だと考え直しました。おたがいの安全のために、大切な事だと思いました。

これからは、右折車が多いときには必ず手を上げます。そして、止まってくれたら、会話をかわすれずに素早くわたるようにします。もう、泣きません。



(イラストは本文とは関係ありません)

## 交通事故の悲劇に学ぶ ③6

### ●友人の命

ゴールデンウィークを過ぎ、梅雨の訪れとともに空気が蒸し暑くなり始めたある日、私は仕事の先輩であり、互いに夢を語り合った同じ歳の友人の命を、将来を、飲酒での居眠り運転という悪質で絶対に許されない行為によって奪ってしまいました。

その年、通っていた大学の留年が確定し、やる気など全くない私は、毎日昼過ぎに起きてはふらふらと夜遊びに出掛ける、だらけた日々を送っていました。

そんな私を見兼ねてか、友人が、自身の勤めるインターネット関連の営業職を紹介してくれました。詳しく聞いてみると、大好きな自分の愛車で見知らぬ土地を走れることに魅力を感じた私は、暇を持って余し、退屈な日々と決別したく、すぐに友人の職場で働くことを決意しました。

そして事件前日、それは土曜日でした。初出勤で友人の静岡県での営業に同行させてもらい、研修の1日目を終えた私はひどく疲れていました。

しかし、それでも翌日が休日ということもあり、帰宅する気分にはならず、自然と飲みに行くことになりました。そこで、私は知人の女性に連絡を取り、私の地元である横浜で合流し、朝まで飲み明かすことになりました。

沢山のお酒を飲み、友人とは飲食店の開業という目標で意気投合し、深く語り合い、有意義で楽しい時間だったことを覚えています。

しかし、朝方になり、そろそろ解散という頃に友人の発した言葉で状況が一変しました。それは、「今から静岡で仕事になった。向こうで待ち合わせをしているし、車で行くぞ。社会人ならメリハリが必要だ。」というものでした。一旦は断りましたが、入社2日目にして情けない男と思われる訳にはいかないという強がりと言われると断ることのできない意志の弱さが私にハンドルを握らせました。

静岡に向けて車を走らせると、助手席の友人は酔いもあってか、眠ってしまい、私は唾魔と闘いながらも友人を起こさぬように音楽もかけずに慎重に走行していました。

しかし、それがそもそも間違いでした。高速を走っていると、次第に襲いくる唾魔に耐えられなくなり、路肩で作業中のトラックに後方からブレーキを掛けることなく追突してしまいました。

車は大破し、友人は意識不明のまま運ばれた病院で亡くなり、作業員の方にも怪我を負わせてしまいました。

それだけの大事件を起こした私は当然刑事裁判にかけられ、自動車運転過失致死傷、道路交通法違反(酒気帯び運転)に付き懲役2年の実刑を言い渡されました。



(イラストは本文とは関係ありません)

若くして命を絶たれた友人の悔しさ、残されたご遺族の方の辛さを考えると、私の2年の刑期はとても長いとは思えません。

私は母方祖母を交通事故で亡くしています。

そのため、免許を取得後、母に何度も「運転には気をつけなさい。」と言われ続けてきました。それにも関わらず、私はどこか他人事で、事故は運転が下手な鈍臭い人が起こすもので自分とは関係ない。交通ルールや法律は、万人の中で一番できない人を基準にしたものだから、能力の高い人は大丈夫などと自分に都合の良いように解釈し、軽んじていた部分が心のどこかにあったのです。

しかし、その結果として、愚かな私は友人の命を奪い、沢山の人を不幸にして、取り返しのつかない一線を越えてしまってからようやく気付かされたのです。

私が刑務所に収容され、1年半が経とうとしています。入所当初、自分の犯した罪の大きさにただ立ち竦み、拾った命を前向きに考えることがどうしてもできませんでした。でも今は違います。「誰かのために生きてこそ、人生には価値がある。」私はそう信じています。

命を落とした友人のため、残されたご遺族の方のため、そして、社会のために生きていきたいと考えています。

もう私のように一線を越え、手遅れになる加害者も、悲しみに暮れる被害者の方も見たくはないのです。

私は、交通犯罪のない平和な世界を心から願い、加害者として自分のできることを全うしていきます。

この手記を読んでくださる方は、どうか他人事と思わず、ハンドルを握る前にもう一度自分の心に聞いてみてください。そして、命を大切にしてください。

思い直していただけたなら、幸いです。

～(一財)東京都交通安全協会編集発行  
「贖いの日々(第50集)」から～

### 賛助会員の紹介

このコーナーでは、(公財)神奈川県交通安全協会の交通安全活動に賛同し、賛助会員としてご協力をいただいている企業等を順次ご紹介しています。(敬称略)

- 江ノ島電鉄(株)自動車部 \_\_\_\_\_ 藤沢市片瀬海岸
- 日本精工(株)藤沢工場 \_\_\_\_\_ 藤沢市鵠沼神明
- 寒川神社 \_\_\_\_\_ 高座郡寒川町

## 新任事務長紹介 ～よろしくお願ひします～

加賀町交通安全協会 齋藤広之 事務長

今年3月に神奈川県警察を定年退職し、4月から事務長に就任しました。

山形県出身で、瀬谷区内に妻と妻の母の3人で暮らしています。子ども2人は結婚して別居しており、休日  
は自宅近くをウォーキングしたり映画を見に行ったりしています。

担当地域には、山下公園、横浜スタジアム、中華街、元町、県庁等があって、祭礼や、野球などの各種イベ  
ントが開催されるため、国内外から多くの観光客等が集まります。居住する外国人も多く、交通ルールを無視  
したりしてマナーも悪いため、自転車と歩行者の事故やトラブルが発生しています。

このような交通事故を1件でも減少させるため、加賀町警察署で勤務した経験を活かし、警察署、協会役員、交通指導員、  
その他ボランティアの方々と連携・協力しながら、交通安全意識の高揚に努めてまいりたいと思います。

どうぞ、よろしくお願ひします。



## 三輪車安全運転講習(SR) ～レディースデー～



4月23日(土) 県運転免許試験場において、女性を対象とした初めての  
の三輪車安全運転講習(SR)を開催しました。

県警察では、毎年度10回の三輪車安全運転講習(SR)を開催してい  
ますが、参加者は男性が多く、特に三輪車運転に不慣れな女性から、受  
講者を女性に限定する“レディースデー”を設けていただきたいとの要  
望が寄せられていました。

当日は、往復はがきで20代から80代までの女性から申込みがあった  
25名の女性が50CCから1,300CCの自分のバイクを持ち込み参加。

県警ホワイトエンジェルの女性白バイ隊員から乗車姿勢に始まり、点検要項、ブレーキング、低速走行、  
ハの字走行など、丁寧な指導を受けて、自己流運転を発見したり、安全運転のポイントを習得し、参加者から  
「参加して良かった」との声が聞かれました。

## 第18回セーフティ・チャレンジ・かながわ

# 無事故・無違反コンクール

参加者募集中

- **申込期間**  
平成28年4月16日(土)～6月30日(木)
- **コンクール期間(無事故・無違反チャレンジ期間)**  
平成28年7月1日(金)～12月31日(土)
- **参加資格**
  - ◇ 神奈川県内在住・在勤・在学または仕事等のため県内で自動車等  
を運転する方3人一組で構成するチーム
  - ◇ チームの全員が各都道府県公安委員会の自動車運転免許(国際  
免許を除く)を受けていること
- **参加区分**
  - ◇ **一般チーム**：年齢を問わず参加資格を有する3人で  
構成するチーム
  - ◇ **シルバーチーム**：一般チームのうち、全員が65歳以上  
(7/1日現在)のチーム
    - ※ 当選チームは、平成29年2月29日(予定)県のホーム  
ページに発表します。
  - ◇ **参加手数料等**
    - ・ 1チーム1,890円(運転記録証明書発行手数料3人分の実費)
    - ・ 参加者の運転記録証明書は、チーム代表者あてに送付します。



### 賞品(予定)

- 特賞** 30万円分の旅行券[1チーム]
  - 1等** 15万円分の旅行券[2チーム]
  - 2等** 6万円分の商品券[5チーム]
  - 3等** 3万円分の商品券[10チーム]
  - 4等** 6,000円分の商品券[150チーム]
  - 5等** 3,000円分の商品券[300チーム]
- その他シルバー特別賞あり



川崎交通安全協会  
会長 関 進 さん



川崎の地は、多摩川河口のデルタ地帯にできた町で、川崎の「川」は多摩川を指し、「崎」はデルタを意味し、中世は、東海道の宿場町で川崎宿の第二宿として繁栄しました。当協会が事務所を構える川崎警察署前は、旧東海道の沿道には石碑等があつて当時の様子をうかがうことができ

ます。協会の最寄り駅は京浜急行八丁畷駅で、その駅名の由来は、東海道の川崎宿を過ぎてから隣の市場村までが8丁(890m)あり、「畷」といって道が田畑の中を伸びていたので「八丁畷」と呼ぶようになったとのこと。

川崎駅周辺は、昭和61年に地下街、平成18年にラゾーナ川崎プラザが完成し、同24年に川崎駅東口広場の再編整備が行われ、今年3月には川崎アゼリアがリニューアルオープンしました。川崎駅周辺や多摩川沿いの高層マンションの連立等、居住及び交通環境の変化と相俟つて人口も増加、歩行者や自転車の関係する交通事故が多発し、地域の交通安全対策の見直しが求められています。

今回は、このように発展を続ける川崎の地で、交通安全活動に取り組んでいる關進会長を紹介いたします。

会長は、平成19年に会長に就任し今年で10年目に入りますが、交通指導員や地域交通安全活動推進委員の活動にも積極的に参加するなど、日頃から率先して各種交通安全活動に取り組んでいます。特にボランティアとして、事業運営に支援協力をいただいている会員の皆様方には感謝の意を表すため、交通安全功労者表彰式を盛大に開催するなど、表彰制度を効果的に活用しています。周囲の方々への気配り、やさしさ、交通安全活動を担う方々とのコミュニケーションを欠かさず、全ての方々に分け隔てなく誠実に接する人柄はまさに「雲中白鶴」そのものであります。

県内で6社のタクシィ会社を経営する傍ら、地域の交通安全には深い関心を持ち、車社会における人と車が調和する交通環境の形成を目指し、警察をはじめとする関係機関・団体と連携しながら、ご尽力をいただいているところで、

川崎市と協定して、UD(ユニバーサルデザイン)タクシィを優先して利用できる乗り場を市内主要駅に設置したことは、大きな業績で、「人をおんぶすること」に原点を求め、全ての人が平等で安全に利用できるタクシィを実現させたのです。

これら連年の功勞により、昨年度の叙勲において、榮譽ある旭日双光章を受章されたところでもあります。

会長は、県交通安全協会副会長、川崎市交通安全協会副会長、県タクシィ協会川崎支部長、川崎地区自動車協会会長の要職に就いているほか、市内唯一の相撲部屋「春日山部屋」の後援会長も努め、お相撲さんから交通安全活動への協力もいただいております。

關会長の日常生活は多忙を極めていますが、その活動力源は、休日を利用した自宅近くの寺院での交通安全祈願と精神修行を兼ねての座禅だそうです。今後も健康に留意されてご活躍されますことをお願いいたします。

こんにちは 「保土ヶ谷交通安全協会」です

保土ヶ谷と言えば、近頃は正月恒例の東京箱根間往復大学駅伝競争大会の花の2区として権太坂が有名になりましたが、古くは東海道五十三次4番目の「程ヶ谷宿」として栄えた歴史ある宿場街として知られています。

また、横浜のヘソと言われる保土ヶ谷は丘陵地のため緑が多く残り、住宅街の奥には野菜や花畑が広がるのどかさを併せ持った街で、私ども保土ヶ谷交通安全協会は、板橋会長以下事務長と女性パート職員3名が、交通ボランティア活動の拠点事務局として各種交通安全活動を推進しています。

板橋会長は常々『効果的な広報活動とその重要性』を説いておられますが、会長のアイデアが盛り込まれた保土ヶ谷安協自慢の風物詩を紹介いたしますと、それは、警察署玄関前に飾る「交通安全提灯」です。これは、各季運動名の横断幕を中央頭上

に掲げ、その左右に「交通安全」の大文字が入った巨大提灯、その左右に3段15列計90個の小提灯を並べたもので、夜間にはライトアップし、道行く人たちに交通安全を呼び掛けています。春と秋の全国交通安全運動、年末の交通事故防止運動の初日等には、この提灯を背に出陣式を挙行して氣勢を上げるなど、交通安全活動に携わるボランティアさんたちの旗印ともなっており、区民にも好評で大きな広報効果を上げています。

保土ヶ谷区は権太坂を筆頭に山坂の多い地勢からバイク利用者が多く、高齢者が通院や買い物の交通手段としてバイクを手放せないという実情があります。加えて、道路狭隘及び谷あいを走る主要幹線道路を利用する通過交通にもバイクが多いため、二輪車が関わる事故が発生件数の40%、高齢者も35%を占めており、いずれも重大事故に直結する可能性が高いことから、その対策が重点課題となっています。

板橋会長の『交通事故防止に特効薬はない』との言葉に従い、シルバーライジングスクールや高齢者を対象とした二輪車安全運転講習の開催はもとより、交通安全



母の会のセーフティアドバイザー事業と連携した高齢者交通安全ミニ教室の出前開催など、地道な活動をより多く積み重ね、大変な時代を生きてご苦労なされた高齢者の皆さんが交通事故の被害に遭わないように、また、加害者となってしまうことのないように訴え続けているところです。

私たち交通安全協会は、地域の交通安全リーダーとして、その地道な啓発活動の先鋒を担っていることを常に忘れず、今後も警察や関係機関・団体の皆様と手を携えながら、会長陣頭指揮の下、役員及び事務局一丸となって、その役割を果たして行きたいと思っています。

(猪股 記)

地区交通安全協会の活動紹介



中原

「春の全国交通安全運動」を前に、警察署で交通安全児童指導員の委嘱式を行った後、武蔵小杉駅前につきま「可愛い声」で交通安全を呼びかけました。



田浦

南郷公園で行われた桜まつりに合わせて、国道16号を経由して交通安全パレードを行い「春の全国交通安全運動」を周知しました。



秦野市

新入学児童の交通安全を願う中、市教育長を訪問し、「交通安全ABCファイル」のほか、ランドセルカバー、交通安全教育冊子の配布を依頼しました。



大和綾瀬

相鉄線大和駅前において、東レキャンペーンガールに日警察署長を委嘱し、県警音楽隊のドリル演奏の後「春の全国交通安全運動」の広報啓発活動を行いました。



相模原

市民桜まつりの機会に、小学生セーフティリーダーに日警察官を委嘱し、カラーガード等の先導により「安全安心パレード」を実施しました。

幸

「春の全国交通安全運動」初日に、ハッピーロード商店街で白バイを先頭に横断幕を掲げパレード実施後、川崎駅西口でキャンペーンを行いました。



麻生

新生児2名に日警察署長を委嘱後、新百合ヶ丘駅前横断幕を掲出し「春の全国交通安全運動」キャンペーンを実施しました。



小田原

市立小学校校長会会長校を訪問し、「交通安全ABCファイル」を贈呈したところ、連絡メモ入れや将来のパソコン教室に役立つものと感謝されました。



厚木警察署管内

県防災センターで市長、警察署長臨席の下、「春の全国交通安全運動出陣式」を行い、交通安全ホスターコンクールに入賞した小学生による「交通安全宣言」を行いました。



海老名市

海老名駅自由通路で、県立有馬高校生35名等とともに、のぼり旗を掲げチラシなどを配布しながら「子どもを交通事故から守ろう」などとキャンペーンを実施しました。



春の全国交通安全運動Ⅱ

インフォメーション

- 二輪車交通事故防止及び暴走族追放強化月間 ————— 6月中
- 第47回二輪車安全運転神奈川県大会 ————— 6/4
- 二輪車安全運転講習 ————— 6/11
- 第7回定時評議員会、第19回理事会 ————— 6/16
- 自転車県大会チーム責任者会議、地区事務長会議 ————— 6/23